

地域デザイン研究科 試験問題

現代の彫刻作品は、技法、材料や表現方法が多様化している。そのため、「彫刻とは」という問いに対して、誤解を生まないように回答するには、作家自身の彫刻観が的確に言語化されることが重要である。

そこで、その問いに答えるための前提として、「広義の彫刻」と「狭義の彫刻」のそれぞれについて自分なりに定義しなさい。

出題意図

研究科入学後に研究を進めるにあたって必要な彫刻観を見るための出題である。ミクロな視点とマクロな視点を想定し、論述できるかという点と、専門用語を含む知識の幅や深さを見るために出題した。